

1月19日からイリノイ大学での春学期がスタートしました。新学期早々、風邪を拗らせてしまい、長く小康状態が続いています。今回は、冬休みに経験した事と履修科目について報告します。

### 冬期 Champaign の天候には注意

私は冬期休暇を日本で過ごしたのですが、私が日本にいる間、イリノイ大学のあるシャンペーンは年末に氷点下 20 の日が 2, 3 日続いたそうです。現在は最高気温が 0 度前後の日々が続き、幾分寒さは和らいだ状況にあるのですが、一度下がりきってしまった気温からおよそ 20 度も上昇してしまったことによって、シャンペーン市の天気は非常に悪くなり、空は一面深い霧で覆われ、気流の乱れもあってシカゴやデトロイトからやってくる飛行機が度々出発を見合わせたりキャンセルされたりする状況が年始は続いたようです。私が利用したフライトもその影響下であり、結果、デトロイト空港に 3 日間取り残されてしまいました。フライトが 2 日連続でキャンセルにあり、デトロイトにて 3 日目の朝、フライトの延期に延期を重ねた末、なんとか無事にシャンペーン辿り着くことができました。シャンペーン空港への着陸と同時に機内で拍手が巻き起こり、UIUC の関係者が多かった機内、皆ぎりぎりでも新学期に間にあう事ができてほっと胸を撫で下ろしている様子でした。冬場は今回の様な事が起こり得るということが身に沁みてよくわかり良い経験になりました。それとは別に、新年早々、米入国審査に引っ掛かり、ロスアンゼルスにてフライトに乗り遅れた事も加えると、トラブル続きで大変疲れましたが、それもまた貴重な経験になったと思います。

### 履修科目について

学校は春学期が始まり半月程が経過したところです。今学期は私にとってイリノイ大学での最後の学期なので、前学期に私に足りていなかった要素を踏まえて、今学期はそれを補えるように学業に取り組みたいと考えています。履修科目について下記に示します。

#### 春学期 2010 履修科目

Subject	Title	Credit
AE420	Finite Element Analysis	4
AE410	Computational Aerodynamics	3
AE353	Aerospace Control	3
PHYS140	How Things Work	3
KOR202	Elementary Korean	5
ESL500	Oral and Written Communication	0
Total Credits		18

春学期は計 6 科目の 18 単位分、履修することに決めました。5 科目でもかなり負担がかかるのですが、旧態依然の自身の英語力を向上できるよう自身に発破をかけるためにできる限り生の英語に触れる機会をつくり、人の話を聞いて理解し、それを自分の言葉で表現する力を養おうと考えました。また、時間をきちんと管理し自分がやらなければならない事を自分で定めた時間内にやり遂げる能力を身につけたいという考えを基にさまざまな科目を調べた結果、上記に示した科目の組み合わせが良いだろうと考え、6 科目履修することにしました。前学期は、1 つの課題に対して課題提出ギリギリまで時間制限を設けずじっくり考えながら取り組むようにしていたのですが、今振り返れば、自分の仕事に完璧を求め過ぎず、少し妥協することで他の事にもっと取り組める機会を作れたのではないかと考えが生まれてきました。今回履修する科目において優先順位の高いものに対しては時間が掛かっても最後まできちんとやり遂げる意志を持って取り組み、低いものに対しては、のめり込み過ぎずに短い時間でしっかり考えて自分の答えを纏められる様に訓練していければ良いと考えています。

### 専門科目について

今学期履修している科目で私が一番楽しみにしていた科目は AE420 の有限要素法の科目です。この科目では、フランス人の先生が教えているのですが、英語はとても聞き取りやすいです。ただ、まだ耳を傾けないと内容が頭に入っていないので、ノートを取りながらインストラクターの説明を聞き取ることは難しい状況です。これまでのところ、1次元の片持ち梁の曲げの問題や座屈を取り上げ、Rayleigh-Ritz 法を用いて近似解を求める手法を学びました。授業では取り上げた問題に対して支配方程式の導出等はまったくなく(どういう方程式になるかくらいの簡単な質問はあるが)、4年生および大学院生の授業だけあって、材料力学の不静定問題であったり、数値解析のコンセプトであったり、授業では知っていて当然とされる背景知識が多々要求されます。それがかなり授業を難しくしているように感じるのですが、その事について先日友人に尋ねたところ、「授業はわからないことも多く、わかったふりをしている学生も少なくない」とのことでした。当然、中には授業をしっかりと理解できている学生もいるようですが、授業中に内容を理解するというのは UIUC の学生でも苦労するところの様です。その分、授業時間外に勉強しなければならないところと、それが大学の狙いなのかもしれません。しかし、AE410 や AE353 の科目のように主題に対して工大の授業のように1つ1つ分析的に議論をすすめてくれる科目もあるので、そういった講義はとてもわかりやすく助かります。これらの違いはなぜ生まれるのか、それはインストラクターに依存するのかもしれません。

### コミュニケーションに焦点を当てた科目

また、今学期は ESL500 の英語のクラスを履修することに決めました。前学期は ESL のクラスは私にとって魅力的ではなかったのでドロップしたのですが、今回は大学院生のためのクラスだからなのか、ESL114 とは異なり英語教育において経験豊富なインストラクターが講義を担当し、講義の内容は研究論文をはじめ解析的な描写を必要とされるアカデミックライティングの授業に加え、スピーチ等の発表の仕方まで議論される予定です。このクラスを履修している学生の専攻は様々なのですが、国籍もまた中国や韓国といった馴染みのある国だけでなく、中南米や中東から欧州までと様々であり、様々な国の人とコミュニケーションをとれる環境にあります。上手く自分の位置をクラスで確保できるように頑張りたいと思います。

秋学期を通じて感じた事なのですが、UIUC でできた友人の多くもまた、自身の学業に忙しいらしく、学期期間中はなかなか皆で遊びに出かける時間もなく、たまにランチを一緒にしたり、たまに勉強を一緒にしたりする程度の付き合いばかりになります。10分でも15分でも世間話をするには自分にとってとても価値のあることなので、そういう機会は KOR202 韓国語のクラスや ESL500 英語のクラスを通じて作っていければと考えています。幸い、韓国語のクラスのメンバーは前学期と一緒に韓国語を学んだメンバーとほぼ同じであり、皆友好的で授業中も冗談を交わせる雰囲気の良い環境にあるので、その中でより自分をアピールしていくように心掛けたいと思います。

また、PHYS140 の科目は、過去に交換留学生として UIUC で学んでいた先輩方の報告書から興味を持ち、履修することに決めました。工学系以外の学生のためのクラスであり、言葉の説明であったり、現象の説明であったり、紙上なら未だしも、オーラルにおいてはなかなか難儀する表現力を要求されるので、自然に頭からアウトプットできる表現を増やせるように取り組む為の良い機会になると思います。

新学期開始から半月程しか経過していないので、まだ忙しくはありませんが、一度課題が出始めると次から次へと休息の間もなくやってくるので、すべてを上手にこなしていけるかどうか少し不安です。しかし、UIUC での最後の学期なので、後悔することの無いようにどのような形でも最後までやり遂げたいと思います。以上で1月分の報告とさせていただきます。